

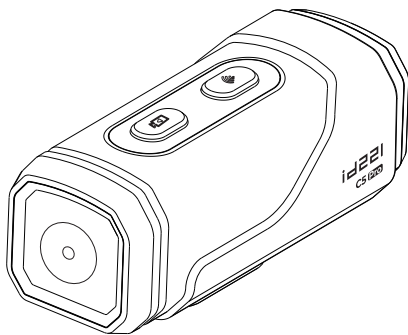
バイク / 自転車等 二輪車専用ドライブレコーダー 【取扱説明書】

id-C5Pro

この度は本製品をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

この説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

なお、お読みになった後も大切に保管してください。



MAXWIN

目次

■安全上のご注意	1
■取付上のご注意	3
■使用上のご注意	4
■microSDカードについて	6
■microSDカードについてのご注意	7
■内蔵充電バッテリーについて／本製品の防水性能について	8
■無線LANに関する注意	9
■付属品一覧	10
■操作方法	12
■本機の充電	15
■microSDカードの挿入・取り出し	16
■本機の取り付け	17
■専用アプリの初期設定	22
■専用アプリの操作方法	23
■よくある質問	28
■製品仕様	30
■ファームウェアについて	31

安全上のご注意

この取扱説明書及び製品では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。表示と内容をよくご確認いただいてから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、死亡や重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱い方をすると、傷害または家屋、家財など損害が想定される内容を示しています。

警告

- 本機はminiUSB端子(電源供給)5V/2A専用です。
自転車、電動アシスト自転車、原付、バイク、電動キックボード、キックスクーター専用です。
上記以外の使用環境は想定していません。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 電源コードの被膜を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
電源コードの電流量がオーバーし、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。
事故、火災、感電の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、ただちに使用を止めて電源をOFFにしてください。
そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- 運転者は、走行中にmicroSDカードの抜き差しやスイッチの操作をしないでください。
前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- 本機が衝撃を検知するかを確かめるために故意に危険な運転をすることなどは、絶対にしないでください。
- 機器内部に水や異物を入れないでください。
発煙、発火、感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、本機に触れないでください。
落雷により、感電の危険性があります。
- 本機を使用するために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- microSDカード挿入口に異物を入れないでください。
火災や感電の原因となります。
- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。



注意

- 本機は、**運転時の状況を記録することが目的です。**
その他の目的では、使用しないでください。
- 本機に、**強い力やショックを与えることはしないでください。**
火災、故障のおそれがあります。
- 夏場などに長時間、直射日光が当たった場合は、**素手で触らないでください。**
直射日光が当たった場合などは、高温になり、火傷をする可能性があります。
- microSDカード挿入口に手や指を入れないでください。
けがの原因となることがあります。
- クリーナーなどのスプレーや水分などを本機にかけないでください。
両面テープが剥がれリアカメラが脱落するおそれがあります。
- 煙、匂い、発熱、異音等の異常現象がある場合は、**ただちに使用を止めて電源をOFFにしてください。**
- 本機側面のゴムカバーを開けて専用アクセサリ以外の物は使用しないでください。
発煙、発火、感電、故障につながります。
- バイク等の運転中に本機の操作はしないでください。
本機の操作は運転前か終了後に行ってください。
- 極端な高温や低温でのご使用は、**誤動作や故障の原因となります。**
- 本機には必ず仕様に適合したmicroSDカードをご使用してください。
- microSDカードを挿入口から挿入してお使いください。
microSDカードを挿入しないと、本機は動作しません。
- microSDカードを本機に挿入する場合、向きに注意してください。
- microSDカードの抜き差しは必ず電源OFFになっていることを確認して行ってください。
本機が動作中にmicroSDカードの抜き差しを行うと破損するおそれがあります。
- microSDカードには本機で記録されるデータ以外を保存しないでください。
映像や画像が正しく記録されないことがあります。
- 本機を強くたたく、ものをぶつけるなどの強い衝撃をあたえないでください。
故障や破損の原因となります。
- 本機への直火やドライヤーなどの急激な温度変化を与えると、故障や破損の原因となります。
- 本機をアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリンなど揮発性の薬品類で拭かないでください。
変形や変質、破損の原因となります。

安全上のご注意

- 磨き砂などが配合された洗剤で拭かないでください。
キズの原因となります。
- カメラ・レンズ部分が汚れている場合は、水を含ませた柔らかい布などで軽くふいでください。
乾いた布で強くこするとキズの原因となります。
- 太陽光やヘッドライトなど高輝度の被写体がカメラに映ると、映像素子特有のブルーブルーミング現象※が発生したり、その光源の中心部分が黒く映ることがありますが、カメラの異常ではありません。
※ブルーミング現象:強い光源の周辺や、非常にコントラストの強いシーンを撮影した場合に撮像素子が強い光を受け、飽和して周囲の画素にあふれ出す現象です。
- 充電用USBケーブルを傷つけたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりしないでください。
- 充電用USBケーブルの芯線の露出、断線などがあった場合は、販売店にご相談下さい。
そのまま使用すると、感電、発熱、火災、の原因となります。
- 充電用USBケーブルを改造したりしないでください。
火災、感電の原因となります。
- 充電用USBケーブルは必ず付属のものをご使用ください。また他の製品に使用しないでください。
火災、感電の原因となります。
- ご不要になった場合は、本機の側面(ゴムカバー)を開けた状態で塩水に2~3日つけて完全に放電させてから燃えないごみとして、廃棄してください。

取付上のご注意

- 取付作業は環境の整った、専門知識のある作業者がいる修理工場や車両販売店での取付をおすすめします。
- 商品可動部の調整、部品の組み換え、車体への取り付けと装着は全て使用者本人のリスクにおいて行ってください。
- 取付作業の際は、安全の為、車両側の電源OFF状態で作業し、必要に応じて電源ONで通電等の機能確認をお願いします。
- 作業後は必ず各システムの動作確認(車両側、本製品側)をお願いします。
- 取付後、約50km走行しましたら、各部を点検してネジ部の増締めを行ってください。
- その後は、約100km毎に必ず点検し、同様の増締めを行ってください。

使用上のご注意

本機についての注意事項です。必ずお読みください。

- 本機は事故の検証に役立つことも目的の1つとした製品ですが、被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますのでご注意ください。また、本機をイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合には弊社は一切責任を負いません。
- 本機は録画状態で使用することにより映像を記録しますが、すべての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- 録画された画像は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- 故障や本体の使用途中によって生じた損害、及び記録された映像やデータの損害、破損による損害は、法律上の請求の原因の種類を問わずいかなる場合においても本製品の使用または使用不能から生じる損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失又はその他の金銭的損害を含む）に関して、弊社は一切の責任を負わないものとします。
- 本機は常時記録型の映像記録装置です。microSDカードの記録がいっぱいになると古い映像から順に消して新しい映像を記録（上書き）します。事故などでデータが必要な場合は、速やかに車両のエンジンキーをオフにし、microSDカードを抜いてパソコンに保存するなどの対応をお願いいたします。
- 記録した映像を残しておきたい場合は、パソコンのハードディスクにコピーしておくなどの対応をお願いいたします。
- 内蔵バッテリーの劣化などにより、電源電圧が低い場合には、録画は動作しないことがあります。
- 運転者は走行中に本機を注視したり操作しないでください。前方不注意となり思わぬ事故につながるおそれがあります。操作する場合は安全を確保したうえで行うようにしてください。
- 本機が起動中にmicroSDカードを抜かないでください。
microSDカードが破損し、映像を記録できなくなるおそれがあります。microSDカードの破損で映像が記録できない件については、弊社は一切責任を負いません。
- LED式信号機は目に見えない速さで点滅しているため、本機で撮影すると、点滅して撮影される場合があります。信号が映っていない場合は、前後の映像や周辺の車両の状況から判断願います。LED式信号機が映らない件について弊社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

以下の場合などは、映像の記録ができないことがあります。

- 1.本機にmicroSDカードを挿入していない場合
- 2.本機からmicroSDカードを抜いた場合
- 3.本機の仕様に適合するmicroSDカード以外を使用した場合
- 4.記録した古い映像が、新しい記録によって消されて(上書きされて)しまった場合
- 5.大きな事故や水没などで本機及びmicroSDカードが損傷を受けた場合
- 6.大きな事故の場合などで本機内蔵バッテリーが断線した場合
- 7.本機の本体が固定されていないなど、本機の取付状態に問題がある場合

■もしも事故に遭われた場合のご注意

- 1.もし事故に遭われた場合は、録画ボタンを押して録画を停止してください。
- 2.電源ボタンを長押しすると本体の電源がOFFになりますので、その後にmicroSDカードを抜いて大切に保管してください。

microSDカードについて

- 本機を使用するときは、microSDカードが必要です。
- 使用できるmicroSDカードについて
本書では特にことわりのないかぎり「microSDHCカード」、「microSDXCカード」microSDカードと総称して表示しています。
本機では下記のSD規格に準拠したmicroSDカードに対応しています。
 - ・microSDHCカード： 容量16～32GB、UHSスピードクラス3以上
 - ・microSDXCカード： 容量:64～128GB、UHSスピードクラス3以上※未使用や利用しているカードに関わらず、初めに本機でフォーマットを行ってください。
※全てのmicroSDカードでの使用を保証するものではありません。
- ご使用の際には、必ずmicroSDカードに付属の取扱説明書も合わせてご確認ください。
- microSDカードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。
- microSDカードによっては、挿入、取り外しにくい場合があります。
- microSDカードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。
- 使用状況によりmicroSDカードの寿命は短くなります。
※寿命となったmicroSDカードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常にご使用できなくなります。
- 正常に使用していた場合であっても、microSDカードは消耗品のため、定期的に新品交換またはフォーマットすることをおすすめします。
- 長期間フォーマットがされていない場合、デフラグ(断片化)が発生し、正しく録画がされない可能性がありますので、定期的にフォーマットを行ってください。
- フォーマットは本機で行うようにしてください。本機以外の製品やパソコン等によるフォーマットでは正しく録画ができない場合があります。
- microSDカードに異常がある場合、本機でフォーマットができない場合があります。
- microSDカード内へ本機以外のデータを保存しないでください。正常に動作しなくなる場合があります。
- microSDカードエラー発生時は、記録ファイルが復旧できない可能性があります。
- microSDカードの容量や保存されているデータ量によっては、起動時間や録画ファイルの読み込みに時間がかかる場合があります。
- 変形しているmicroSDカードを使用するとエラー発生および故障の原因となります。
- 重大な事故などで本機内部電源が断たれた場合やmicroSDカード自体が破損した場合、記録することができない場合があります。また、記録されているデータが破損する可能性があります。
- 本機の動作温度が仕様外の場合、microSDカードが正常に動作しない場合があります。
- microSDカードの消耗に起因する故障や損傷においては、弊社が保証するものではありません。
- あらゆる事象において破損、消失したデータの復旧サービス等は行っておりません。
- 思わぬ故障や破損等により、データが消失する可能性がありますので、定期的なデータのバックアップをおすすめします。

microSDカードについてのご注意

本製品に使用する microSDカードで厚さ 0.8mm以上のものはご使用にならないでください。

■**カードスロットが詰まり、正常に取り出せなくなることがあります。**

国内正規品の microSDカードのご使用を推奨致します。

当社推奨microSDカード

容量:128GB

品番:SD-A128G



※microSDカードスロットの挿入口には、microSDカード以外のものは入れないでください。

※microSDカードラベルなどを貼らないでください。

内蔵充電式バッテリーについて

本機には2840mAhのバッテリー(リチウムポリマー)を内蔵しております。

充電回数はおよそ300回～500回です。

※利用や保管状態に応じて劣化致しますので、充電回数、動作時間に関わらず電池寿命は保証対象外です。電池特性に合った利用・保管方法をお願いいたします。

■本機を炎天下の屋外や直射日光の強いところなど、高温になる場所に放置しないでください。バッテリー内部で異常な化学反応が起こり、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■鋭利なもので刺したり、叩いたりしないでください。バッテリーが破裂や変形したりガス漏れなどにより、液漏れ、発熱、発煙、膨張、破裂、発火などの原因となります。

■本機が稼働している状態でなくても、バッテリーは自然放電してしまいます。バッテリー性能に限らず自然放電による、長期の内部電力量の担保には限界があります。購入後は速やかに、本機の充電をしてください。

※バッテリー満充電時の自然放電は目安は約2ヶ月ですが、保証値ではありません。

■過放電は電池寿命を縮め充電出来なくなる場合があります。電池切れの前に充電してください。

■本機を長時間使用しない場合は本体から充電ケーブルを外してください。

■本機を長時間使用しない場合はバッテリー残量を50%程度にしてから保管してください。

本製品の防水性能について

■ドライブレコーダー本体:

本機は、防水規格IPX6相当の防水性能を有しています。

※防水性能は当社試験方法によるものです。

※保護ゴムキャップは取り外さないでください。

※完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください。

※本機が濡れた場合、乾いたやわらかい布などで水分を丁寧にふき取ってください。

●本製品の各部品への内部浸水/結露による故障は、保証期間内であっても保証対象外となります。あらかじめご了承ください。

●本製品をご使用の際は、湿気や高温(60℃以上)、極端な温度変化のある環境下を避けてください。

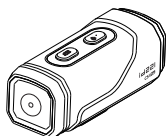
●洗車時には本製品を外して洗車してください。保管してください。

無線LANに関する注意

- 本製品は、技術基準適合証明を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。なお、日本国内以外で使用する場合には、各国の電波法に抵触する恐れがあります。
- 本製品のラベルには技術基準適合番号が印刷されています。このラベルは絶対にはがさないでください。はがした状態で使用すると電波法違反となります。
- 分解したり改造したりすることは電波法で禁止されています。絶対におこなわないでください。
- 本製品は 2.4GHz 帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。そのため、本製品の通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに「Wi-Fi」機能の設定をOFFに変更してください。
- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。
- 本製品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。
- 本製品はすべてのスマートフォンとの接続動作を確認したものではありません。そのためすべてのスマートフォンとの動作を保証するものではありません。

付属品一覧

本機の梱包内容は以下の通りです。



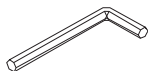
①本体



②クイックリリース
取付ベース



③ネジ×2



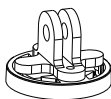
④六角レンチ



⑤自転車用
マウント



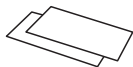
⑥ミラーマウント



⑦変換
アダプター



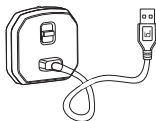
⑧ミラー・
ハンドルバー
マウント



⑨ゴムシート



⑩ストラップ



⑪防水
USBケーブル

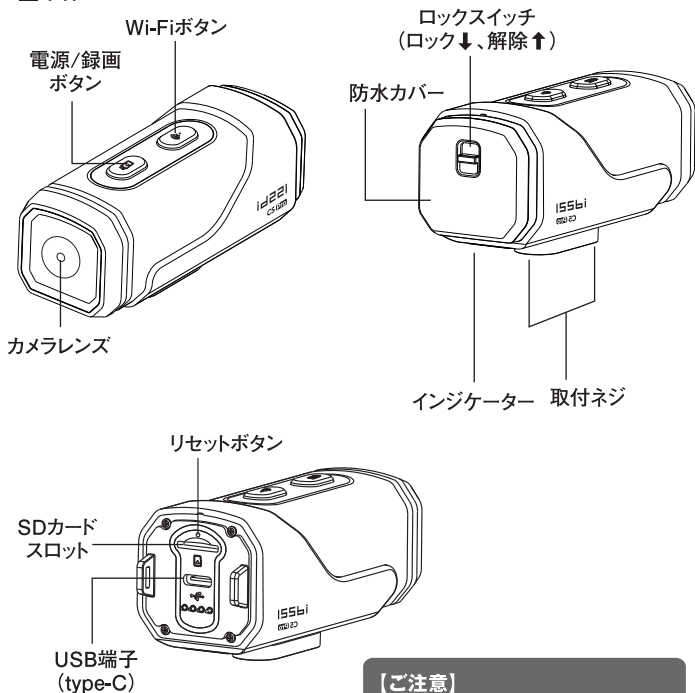


⑫USBケーブル

各部名称と働き

本機の各部名称は以下の通りです。

■本体



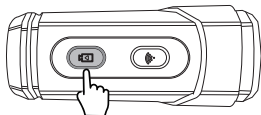
【ご注意】

UHSクラス3以上の microSD カードをご使用ください。
microSDカードの金属端子面を上（操作ボタン）に向け、カードスロットに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。

■電源をONにする

録画が自動に開始されます。

- 電源/録画ボタン:点滅(緑色)
- インジケーター:点滅(緑色)
- 指示音:「ピー」「ピー」



電源/録画ボタン:長押し(3秒)

【SDカード異常・未装着の場合】

- 電源/録画ボタン:点灯(赤色)
 - インジケーター:点灯(赤色)
 - 指示音:「ピー」…「ピー」…「ピー」…※
- ※繰り返す(SDカード未装着のみ)。

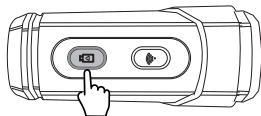
【ループ録画機能設定:OFF・SDカードが一杯になった場合】

- 電源/録画ボタン:点灯(緑色)
 - インジケーター:点灯(緑色)
- ※録画が自動に開始しません。SDカードを交換してください。
またはループ録画機能の設定をONにしてください。

■電源をOFFにする

同時に録画を停止します。

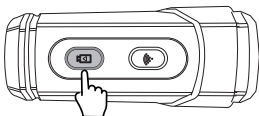
- 電源/録画ボタン:消灯
- インジケーター:消灯
- 指示音:
「ピー」「ピーピー」「ピーピー」「ピー」



電源/録画ボタン:長押し(3秒)

■録画を停止する

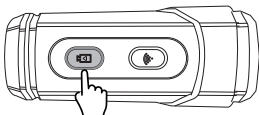
- 電源/録画ボタン:点灯(緑色)
- インジケータ:点灯(緑色)
- 指示音:「ピー」



電源/録画ボタン:短押し

■録画を開始する

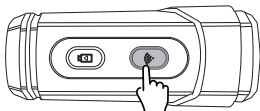
- 電源/録画ボタン:点滅(緑色)
- インジケータ:点滅(緑色)
- 指示音:「ピー」



電源/録画ボタン:短押し

■Wi-FiをONにする

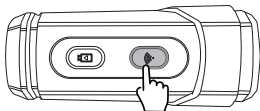
- Wi-Fiボタン:点滅(緑色)
- インジケータ:点滅(緑色×2)
- 指示音:「ピー」



Wi-Fiボタン:長押し(2秒)

■Wi-FiをOFFにする

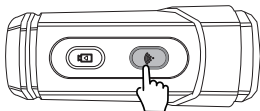
- Wi-Fiボタン:消灯
- インジケータ:点滅(緑色×1)
- 指示音:「ピー」



Wi-Fiボタン:長押し(2秒)

■Wi-Fiをリセットする

- Wi-Fiボタン:消灯
- インジケータ:1回(赤色+緑色)
- 指示音:「ピー」「ピー」



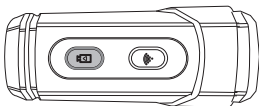
Wi-Fiボタン:長押し(15秒)

※電源ONの状態

Wi-Fiをリセットする:本機のWi-Fi名とパスワードがリセットされます。

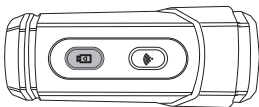
■ローバッテリー

- 電源/録画ボタン:高速点滅(赤色)
- 指示音:「ピー」……「ピー」……※
- ※「ピー」/3分毎



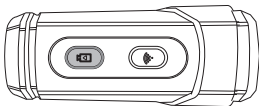
■充電中

- 電源/録画ボタン:点灯(赤色)



■充電完了

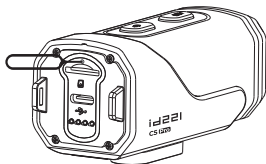
- 電源/録画ボタン:点灯(青色)



■本体をリセットする

先端が細いピンなどを使ってリセットボタンを押すとリセットが完了します。

- 指示音:「ピー」「ピー」



ご注意

- ・導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)が触れたり、内部に入ったままにしないでください。
- ・本製品が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- ・端子が破損している状態で充電しないでください。
- ・本製品が濡れている状態では、絶対に防水カバーを外さないでください。
- ・端子の向きに注意し、正しい向きで端子に対してまっすぐ差し込んでください。

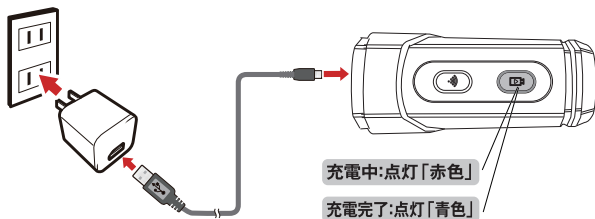
本機の充電

本製品を初めてご使用になる際は、以下の手順で本体の内蔵バッテリーをフル充電してください。

※内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、車両などから電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。以降も定期的に本体の充電を行なってください。

※このとき、本機にmicroSDカードを挿入する必要はありません。

- [1] 本機と付属USBケーブル、市販のACアダプタ(定格出力5V・2A以上)を用意します。
 - [2] 本機の電源がOFFになっていることを確認します。
 - [3] 本機のキャップを外します。
 - [4] 付属のUSBケーブルを使用して、本体と市販のACアダプタを接続し、ご家庭のコンセントに接続します。
※USBケーブルを本体に挿入する際は、ケーブル端子の向きを間違えないでください。本体およびケーブルのUSB端子が変形/破損する原因となります。充電中は、状態表示LED2が赤色に点灯します。状態表示LED2が青色に点灯したら充電完了です。
- [5] 充電が完了したら、ACアダプタから本体を取り外してください。



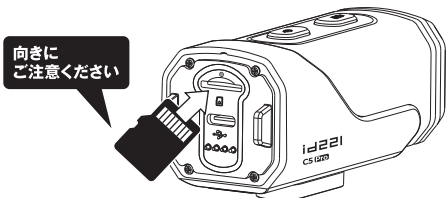
ご注意

- ケーブル端子は、嵌合が固めです。抜き差しする際は十分ご注意ください。端子部に無理な力が加わると、本体およびケーブルのUSB端子部が変形/破損する原因となります。
- SDカード挿入状態で充電する際は、ご家庭のコンセントに接続後、必ず本体の電源をOFFにして行ってください。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタから本機を取り外してください。コンセントに接続したまま放置すると、内蔵バッテリーの劣化の原因となります。

microSDカードの挿入・取り出し

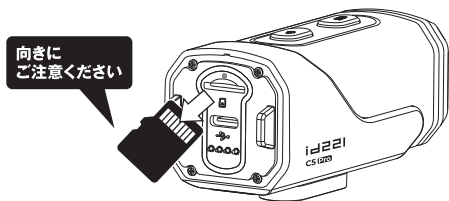
■microSDカードを挿入する

- 1.本機の電源を「OFF」にする
- 2.防水カバーを外してから、メモリーカードの印字面を裏にして挿入する



■microSDカードを取り出す

- 1.本機の電源を「OFF」にする
 - 2.防水カバーを外してから、メモリーカードを押して、カードが飛び出したら引き抜いてください。
- ※カードを取り出す際に飛び出すことがありますので、紛失にご注意ください。



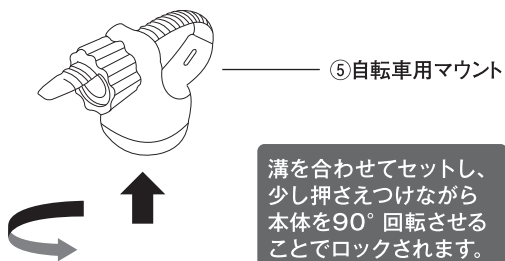
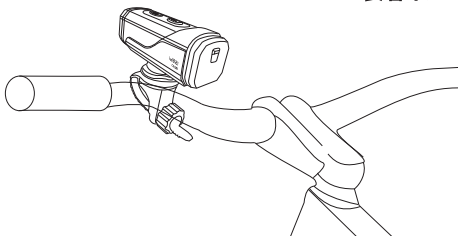
ご注意

microSDカードを取り出し/交換する際、引っ掛かりがある状態での作業は行なわないでください。無理な力が加わるとmicroSDカードスロットが破損します。

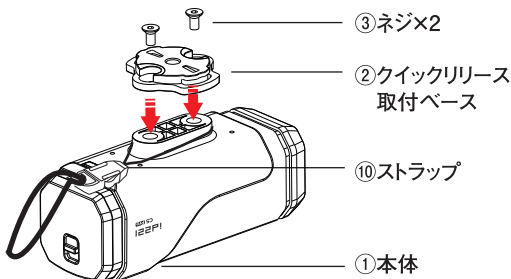
本機の取り付け

■自転車用マウント

装着イメージ



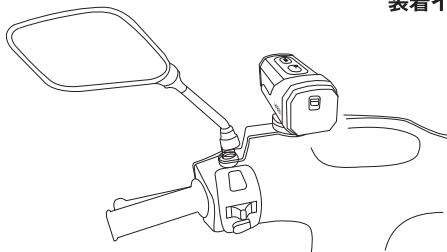
溝を合わせてセットし、
少し押さえつけながら
本体を90°回転させる
ことでロックされます。



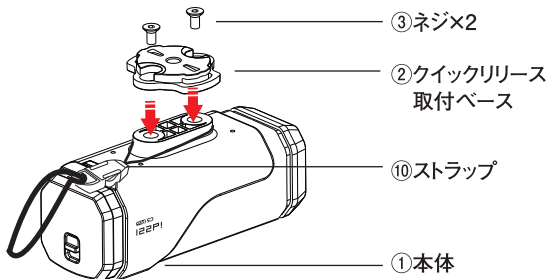
本機の取り付け

■ミラーマウント

装着イメージ



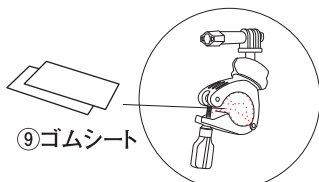
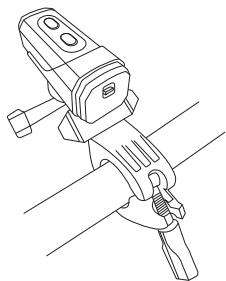
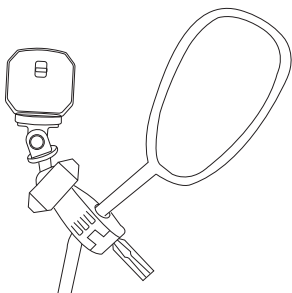
溝を合わせてセットし、
少し押さえつけながら
本体を90°回転させる
ことでロックされます。



本機の取り付け

■ミラー・ハンドルパーマウント（⑦変換アダプター使用）

装着イメージ

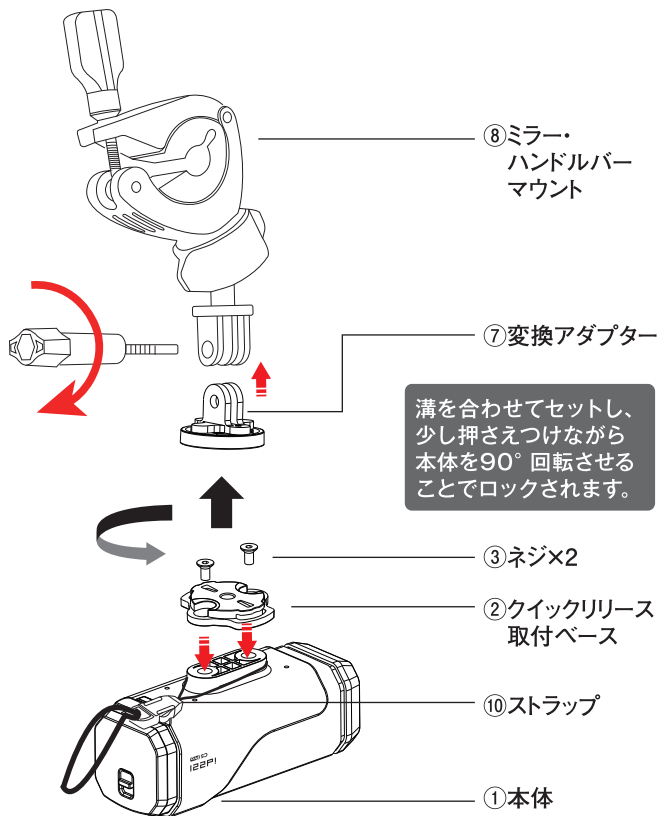


⑨ゴムシート

必要に応じてマウントに装着済みのゴムスペーサーを取り外し、⑨ゴムシートを使用してください。

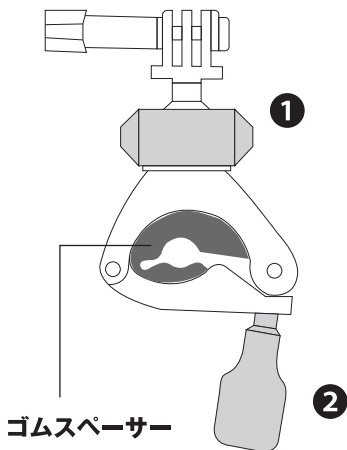
本機の取り付け

■ミラー・ハンドルバーマウント (⑦変換アダプター使用)



本機の取り付け

■ミラー・ハンドルバーマウント (⑦変換アダプター使用)



- ① 360°回転+角度調整可能のボールジョイントです。締めることでロックできます。
- ② ハンドルに取り付け、下ネジを締めます。

専用アプリの初期設定

アプリ「idGoLive」は、スマートフォンと本体を無線LAN (Wi-Fi) 接続することにより、本体で記録された録画ファイルをスマートフォンにて再生することができます。

ご注意

初めて使用するときは、時間を同期させるために専用アプリと連携させてください。

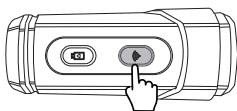
1 アプリをインストールする

お手持ちのスマートフォンにApp StoreあるいはGoogle Playから「idGoLive」をインストールします。
※「位置情報」と「カメラ」を許可する必要があります。



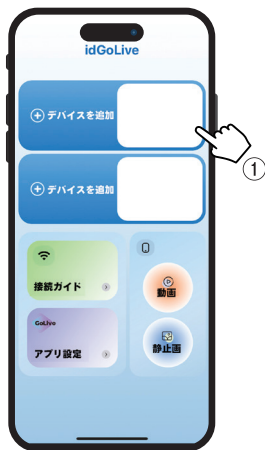
2 本体とスマートフォンを無線LAN (Wi-Fi) で接続する

本体のWi-Fiボタンを長押しし、無線LAN (Wi-Fi) をONにしてから、お使いのスマートフォンを本体の無線LANに接続します。※
※接続先一覧から、デバイス名「id-C5Pro-XXXXXX」を選択します。
「XXXXXX」の部分は初期値では本体の端末IDが表示されます。

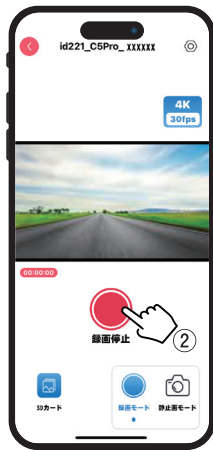


デバイス名:id-C5Pro-XXXX
パスワード(初期値):12345678

■ライブ映像・録画を停止/開始する



- ①ホーム画面で「デバイスを追加」をタップすると、ライブ映像画面に切り替わります。



- ②ライブ映像画面で録画ボタンをタップすると、録画を停止/開始できます。

■スマートフォンへ録画ファイルを保存する

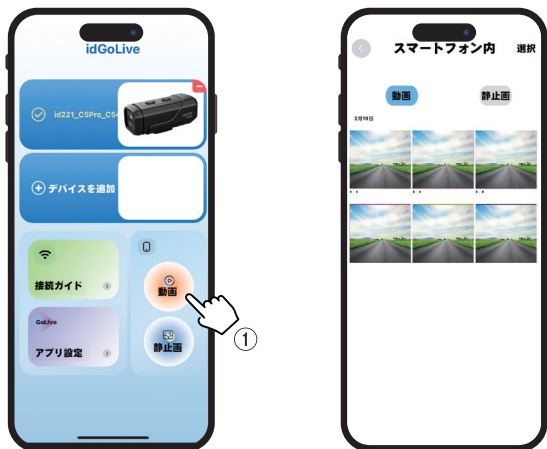


①SDカードボタンをタップし、記録ファイルの再生リスト画面に切り替えます。



②選択ボタンをタップし、ファイルを選択すると、削除やスマートフォンのアルバムに保存できます。

■スマートフォンで保存済みの録画ファイルを見る



- ① ホーム画面で動画ボタンをタップすると、スマートフォンに保存された記録ファイルの再生リストが確認できます。

■設定画面の確認



- ① 設定ボタンをタップすると設定画面に切り替わります。

【設定一覧】

Wi-Fi設定	本体のWi-Fi名称とパスワードを設定できます。
記録解像度	撮影する録画ファイルのサイズを設定します。 4K@27fps、2K@27fps、1080P@27fps、1080P@55fps
電源周波数	蛍光灯下でのチラツキを抑えるための設定です。 東日本では50Hz、西日本では60Hz を選択します。
タイムスタンプ表示	ONにすると、録画をする際に映像に現在の時刻を表示させます。
EIS機能	EIS(電子式映像ブレ補正)を有効/無効に設定します。
ループ録画	録画ファイルの上書き設定をします。 OFF(1分)/1分/3分/5分で設定します。
上下反転機能	記録映像の上下反転を設定できます。
EV(露出)	記録映像の明るさを手動で補正する設定です。
SDカードフォーマット	SDカードのフォーマットができます。

よくあるご質問

ご質問	回答
電源が入らない、動作しない、動作が不安定	<ul style="list-style-type: none"> ●充電が十分にされていか確認してください。 ⇒内蔵バッテリーの残量が少ない状態で使用すると、外部から電源供給する場合であっても本体が正常に作動しない場合があります。定期的に本体の充電を行なってください。 ●本体が高温(50℃以上)になっていませんか？ ⇒microSD カードへの書き込みエラー発生時や外部環境要因などにより、本体が高温(50℃以上)になると、動作を停止する場合があります。本体の温度が下がってから使用してください。 ●システムエラーの可能性あります。 ⇒リセットボタンを押して本体を再起動してください。
録画が開始しない	microSDカード未挿入、または読み込みができてない可能性があります。microSDカードをご確認し、フォーマットしてください。
記録が出来ない ファイルの読み込みが遅い	microSDカードが破損している可能性があります。 ⇒新しいmicroSDカードに差し替えてください。
起動後、暫くが経ってから自動録画開始する	前回利用時に最後に記録ファイルが破損した可能性があります。その場合には、本機はファイルを修復してから録画開始します。
日時表示が違う	内蔵の充電式バッテリーが放電してしまっています。 ⇒本体に電源が入った状態でしばらく充電してから、日時を再設定してください。充電しても初期値に戻ってしまう場合は内蔵の充電式バッテリーの寿命です。
動画再生で映像が飛んだりカクカクする	microSDカードのスピードクラスが足りていない可能性があります。 ⇒録画解像度設定を下げるかmicroSDカードを交換してください。
信号の色が記録されないことがある	映像の記録周期とLED方式の信号機の点滅周期によっては、一瞬信号が消えて見える場合があります。また、逆光等の環境によっては信号が確認できない場合があります。その場合は、前後の映像や周囲の車両の状況から判断してください。 本製品には充電用USBケーブルのみ同梱していますので、市販のACアダプター(定格5V/2A以下)のものをお使いください。
ACアダプターがない	本製品には充電用USBケーブルのみ同梱していますので、市販のACアダプター(定格5V/2A以上)のものをお使いください。

よくあるご質問

ご質問	回 答
スマートフォンと接続できない	<ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンのWi-Fi機能はONになっていますか？ ●Wi-Fiが繋がりにくい場所で作業を行っていませんか？ ●スマートフォンとのWi-Fi接続時に入力したパスワードが間違っていないですか？ <p>※本製品は、複数台のスマートフォンとの接続はできません。本製品が既に他のスマートフォンとWi-Fi接続状態にある場合は、その接続を解除してからお試しください。</p>
microSDカードがフォーマットできなくなった	<p>microSDカードを新品に交換してください。</p> <p>※microSDカードのNANDフラッシュメモリの素子が書き込み回数の上限に達すると、カード側にデータロック機能がないmicroSDHCおよびmicroSDXCであっても「書き込み禁止」の状態となり、フォーマットができなくなります。</p> <p>※microSDカードに起因する故障/損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>
使用中に本体/部品が脱落した	<p>ヘルメットまたは車両への取り付けが確実ではなかった可能性があります。</p> <p>⇒本体および各部品の脱落防止対策が不十分だった可能性があります。</p> <p>※本製品の各部品は、走行中に落下しないようにヘルメットまたは車両へ確実に取り付けをしてください。また、本体および各部品の脱落防止対策は、全て使用者本人のリスク管理のもとで行なってください。本体/部品の脱落や付随して発生した損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。</p>
ランプが正常に点灯していない (電源・録画ボタン:赤点灯) (インジケーター:赤点灯)	<p>電源を入れると同時に赤点灯の場合、本来のランプ表示と異なっております。microSDカードのフォーマット、本体のリセットにて改善される場合がありますので、以下の方法をお試しください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●microSDカードのフォーマットは本体にてできないので、PCなどを使って行ってください。 ●本体リセット方法は本体の電源が入っている状態でリセットボタンをピンなどで押してください。
Wi-Fi接続が上手く出来ない	<p>電源ONの状態、WiFiボタンを長押ししてWiFi設定をリセットして、WiFi接続しなおしてください。</p>

製品仕様

モデル名	id-C5Pro
撮影素子	500万画素カラーCMOS (STARVIS技術搭載)
記録画角・F値	対角120°/F1.8
画像補正技術	WDR機能/EIS機能
記録解像度	4K@27fps、2K@27fps、1080P@27fps/55fps
記録方式	連続録画
ファイル構成	1分/3分/5分
ファイル形式	MP4
録画可能時間	最大約9時間
再生方法	スマホアプリ「idGoLive」、Windows Media Player
Wi-Fi	2.4GHz
防水	IPX6相当
記録媒体	microSDXC カード UHS-3 以上 (32GB ~ 512GB)
内蔵バッテリー	2840mAh/3.8V
電源	DC 5V ≤2.4A
充電時間	満充電まで 約100分
動作温度範囲	-20℃ ~ +60℃

ファームウェアについて

ファームウェアの更新で不具合修正や機能改善する場合があります。
以下のURLにて最新のファームウェアを公開いたしますので、随時チェックしてください。

最新ファームウェアはコチラ



<https://maxwin.jp/datadownload/firmware/>

検索に製品番号の「id-c5pro」を入力してください。

商品のアフターサービスに関するお問い合わせは、
お買い求めの販売店またはMAXWINホームページまで
お問い合わせください。

<https://www.maxwin.jp/>

MAXWIN